

# 三和新聞 號外

昭和29年9月29日(水曜日)

## 磐城市に自動車強盗

### 運轉手を殴り千円強奪

あまこタクシーの飯村君重傷

二十三、四才、やさ形の男

二十八日午後十一時ころ平市二丁目尾子タクシー小型ハイヤー連轉手平市新川町飯村昭男君(22)が平市一丁目で呼びとめられ二十三、四才の若い男を乗せて磐城市に向う途中、岡小名地内鹿島街道の暗がりです突然停車を命ぜられ「運賃の精算をしよう」と千円札を出した男に釣銭を拂おうとしたトタン石のようなもので顔面、頭部を滅多打ちにされ、百円札十枚を強奪された、急報により磐城市署では全署員を非常召集し捜査しているが現在捕つていない、飯村君は磐城市本町石井医院で手当を受けたが右前額部二カ所、後部一カ所、右側頭部二カ所、右手首一カ所に打撲裂傷をうけ内出血がひどく全治一カ月の重傷、犯人は五尺三寸ぐらゐ、ヤセ型、面長、長髪を七三にわけてカーキ色の開襟シャツ、黒ズボンにゴム長靴をはいておりコーモリを持つた一見やさしく見える男である

### 一丁目から小名濱へ

#### 途中突然停車を命ず

飯村君の話

命じ車の右側に降りて自分で運賃台の下をあげ千円札出したので釣銭三百円を拂おうとした際、いきなりなぐりつけ私を持つていた千円を奪つて逃げた

飯村君の語一平市二丁目四ツ角でいつて乗込んだ、磐城市役所前まで鹿島街道を三ノ木トルビを走つ手をあげて車を止め小名濱までと、ゆくと突然左に曲つてくれと命じた人家のない淋しい場所へ停車を